

未来を拓く新たな茨城づくり調査特別委員会 調査方針（案）

1 調査目的

終わりの見えない人口減少や物価高騰など、私たちを取り巻く社会情勢は一段と厳しさを増しており、県民が将来に希望を持てる、県政の新たな骨格を示すことがこれまで以上に求められている。

このような中、県政運営の指針となる県総合計画の計画期間が令和7年度をもって終了することから、令和8年度を初年度とする新たな総合計画の策定が必要となっている。

そこで、茨城県議会基本条例第25条の趣旨を踏まえ、次期県総合計画の策定に当たり、今後特に求められる事項を議会として明確に打ち出すため、「新たな茨城づくりに向けた諸方策の在り方」について調査・検討を行う。

2 調査項目

- (1) 「挑戦する県庁」への変革
- (2) 新しい豊かさ
- (3) 新しい安心安全
- (4) 新しい人財育成
- (5) 新しい夢・希望

3 調査期間

調査期間は、令和8年3月までの概ね11ヶ月とし、令和7年第4回定例会の会期中に調査報告（最終提言）を行い、令和8年第1回定例会までに調査報告（最終提言）に対する県総合計画案の対応状況について調査結果を報告する。

調査項目細目（案）

1 「挑戦する県庁」への変革

- ・挑戦できる体制づくり
- ・未来志向の財政運営

2 新しい豊かさ

- ・質の高い雇用の創出
- ・新産業育成と中小企業等の成長
- ・強い農林水産業
- ・ビジット茨城～新観光創生～
- ・自然環境の保全・再生

【重点項目】

成長分野の企業誘致と産業人材の確保、農林水産業の成長産業化と担い手づくり、インバウンドの取り込み など

3 新しい安心安全

- ・県民の命を守る地域保健・医療
- ・健康長寿日本一と福祉の充実
- ・障害のある人も暮らしやすい社会
- ・安心して暮らせる社会
- ・災害・危機に強い県づくり

【重点項目】

医師確保や医療提供体制の整備、健康づくり、地域コミュニティの活性化 など

4 新しい人財育成

- ・次世代を担う「人財」
- ・魅力ある教育環境
- ・日本一、子どもを産み育てやすい県
- ・学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城
- ・外国人材の活躍促進
- ・自分らしく輝ける社会

【重点項目】

学校教育の充実、少子化対策、外国人材の活躍促進 など

5 新しい夢・希望

- ・魅力発信 No.1プロジェクト
- ・世界に飛躍する茨城へ
- ・若者を惹きつけるまちづくり
- ・デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進
- ・活力を生むインフラと住み続けたいくなるまち

【重点項目】

県産品の輸出促進、若者の呼び込み、DXの推進 など

調査活動計画（案）

時期	委員会	内 容
令和7年 5月14日	第1回委員会	○調査方針及び調査活動計画の決定 ○「挑戦する県庁」への変革 ・有識者意見聴取 ・執行部説明聴取、審議
5月28日	第2回委員会	○新しい豊かさ ・有識者意見聴取 ・執行部説明聴取、審議
6月	第3回委員会 <定例会中>	○新しい安心安全① ・有識者意見聴取 ・執行部説明聴取、審議
7月	第4回委員会	○新しい安心安全② ・有識者意見聴取 ・執行部説明聴取、審議
7～8月	第5回委員会	○新しい人財育成 ・有識者意見聴取 ・執行部説明聴取、審議
8月	第6回委員会	○新しい夢・希望 ・有識者意見聴取 ・執行部説明聴取、審議 ○県総合計画の政策・施策の進捗状況、数値目標の達成状況 ・執行部説明聴取、審議
9月	第7回委員会	○調査報告（中間提言）案の検討
10月	第8回委員会 <定例会中>	○調査報告（中間提言）の決定 →定例会最終日：調査報告（中間提言）
11月	第9回委員会	○新たな県総合計画案の検討状況 ○調査報告（最終提言）案の検討
12月	第10回委員会 <定例会中>	○調査報告（最終提言）の決定 →定例会最終日：調査報告（最終提言）
令和8年 3月	第11回委員会 <定例会中>	○新たな県総合計画案の対応状況 ○調査結果報告（調査の経過及び結果）の決定 →定例会最終日：調査結果報告